

## 参考指標2 【家で自分で計画を立てて勉強をしている】実践例

関連項目「熊本の学び推進プラン」第5章

### 学校独自の「石段ノート」を活用した自ら取り組む家庭学習に向けた取組 ～美里町立中央中学校～

- 帰りの会の時間を利用した「石段ノート」への家庭学習計画の記入
- 「石段・石橋運動」の取組状況の可視化と学校全体（教師と生徒等）での共有



【「きらりさん（参考になるノート）」（左）  
「石橋・石段運動」結果（右）を学年毎に掲示】

学校独自の「石段ノート」に、帰りの会で、その日の授業を振り返り、家庭学習の計画を立てる取組を進めています。翌日、提出されたノートの内容や取組状況を、学年部の職員で見取り、適宜アドバイスをしています。また、学習の仕方やまとめ方で参考になるノートを「きらりさん」として掲示をして、一人一人の家庭学習の質の向上につなげています。

「石段・石橋運動」では月一回、一週間分の家庭での学習時間とメディアの時間を学年ごとに集計し、結果を掲示する等、学習時間及びメディアに触れる時間を意識させる取組を行っています。

## 参考指標2 【家で自分で計画を立てて勉強をしている】実践例

関連項目「熊本の学び」アクション・プロジェクト 柱1

### 「単元のゴールの姿」に向け、ペア学習や家庭学習等を活用し、学習意欲を高め ていく取組

～長洲町立長洲中学校～

- 「人権が尊重される授業づくりの視点」を用いた授業づくり
- スピーキングテストに向けた家庭学習の取組



【授業の様子】

簡単な語句や文を用いてペア学習を行っています。

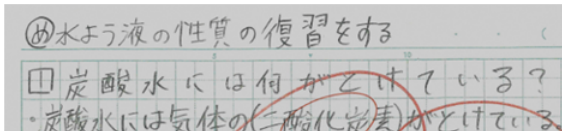
第1学年の英語では、単元の終末に、既習内容を用いて、自分の最近の出来事をALTに話すというスピーキングテストによる発表の場を設定しています。

そのため、授業では「人権が尊重される授業づくりの視点例（人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】）」の中から「自己存在感を持たせる」支援として、自信がないときには、ペアで確認し、安心して会話ができる雰囲気づくりを目指しました。

また、家庭学習で、ALTに伝えたい出来事を整理し、授業中に完成した作文を友達と読み合う活動を取り入れました。

家庭学習の習慣化に向けた取組  
～山鹿市立菊鹿小学校～

- 家庭学習の計画や自主学習のめあてを作成する時間の設定
- 各学期1回の「自学コンクール」の掲示



【一番上に「めあて」が書かれた自学ノート】



【自学コンクールで掲示された児童のノート】

週に2回、帰りの会の後に設定している10分間の「学習マネジメントタイム」において、児童がその日の家庭学習の計画を作成しています。具体的には、児童がその日の学校での学習を振り返り、家庭学習の計画やめあてをノートに書くなど、自分で計画を立てることを行っています。

この取組を継続することで、児童は家庭学習にスムーズに取り組むようになり、自分の課題に合った学習ができるようになっていきます。

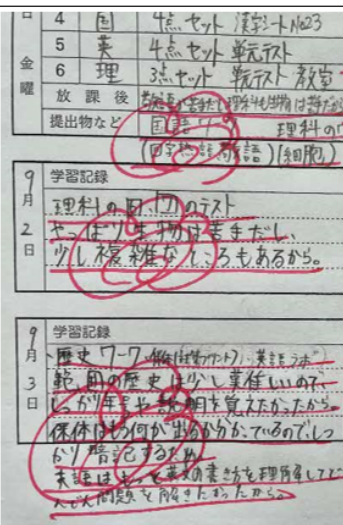
また、各学期1回の「自学コンクール」を行い、効果的なノートやよくまとめられたノートを掲示して、児童がお互いに学び合ったり、認め合ったりしています。

一日の学習を振り返り、自分で計画を立て家庭学習を進める取組  
～山鹿市立山鹿中学校～

- 帰りの会での家庭学習を計画する時間の設定とペアや班での交流



教科の課題	
国語	ワークブック 読書(予習) 前期期末小テスト(2) 国
社会	(税関)関税(税) 歴史ワーク 公民ワーク
数学	数直線(1) 平面図形 角の単位換算
理科	完全学習(1) (2) (3) (4) (5) (6)
英語	英語リスニング 英語リスニング
技能	(技術)ホームヘルプカード (家庭) ノート作り (1) (2) (3)



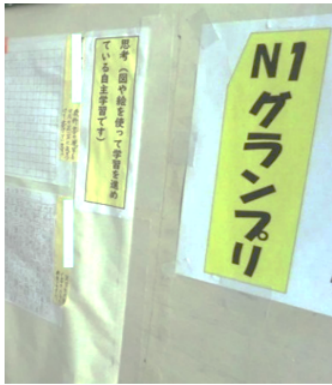
生徒が自ら考え、仲間と関わりながら学びを深める授業づくりに取り組む上で、生徒自身が一日の学習を振り返り、家庭学習の計画を立てて取り組むことが課題と捉えました。そこで、家庭学習の計画の立て方について、職員で共通理解を図りました。

帰りの会で一日の学習を振り返り、自分で家庭学習内容を計画し、ペアや班で交流する時間を設けています。生徒同士が交流し、多様な考えに触れることを通して意欲が喚起され、家庭学習の充実につながっています。

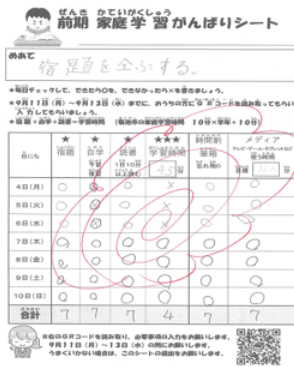
【家庭学習の計画を話し合う生徒と学習の記録等】

家庭学習の取組を「わかった・できた」につなげ子供が学び方を学ぶための手立て  
～ 菊池市立泗水東小学校～

- 「家庭学習がんばり週間」における家庭との連携と「漢字・計算大会」の開催
- 子供が学び方を学ぶ、「自学ノートコンテスト『N-1グランプリ』」の開催



【N1グランプリの掲示】  
自主学習ノートのコピーと  
説明が掲示されています。



【家庭学習がんばりシート】  
二次元コード付で、目標を  
記入します。

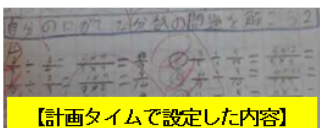
「家庭学習がんばり週間」を設定し、児童が家庭学習の目標や内容、時間等を設定する活動に取り組みました。保護者も一緒に取組内容を設定しやすいように、二次元コード付の「家庭学習がんばりシート」を作成し、配付しました。

「家庭学習がんばり週間」の直後には「漢字・計算大会」を実施し、基礎・基本となる問題を出題しました。家庭学習での取組が大会の結果にも反映されやすくすることで、児童は取組の充実感を得ることができました。

「家庭学習がんばり週間」中の自主学習ノートは「N1グランプリ」として審査し、掲示しました。優れた実践から、児童同士の学び合いにつながっています。

学校と家庭をつなぎ、自ら計画を立てて勉強する取組  
～ 南小国町立市原小学校～

- 学校で立てた計画を家庭で確認して取り組む「きよらっこノート」による自主的な学習
- 「きよらっこノート」(自主学習)の計画を立てる時間の設定



【計画タイムで設定した内容】

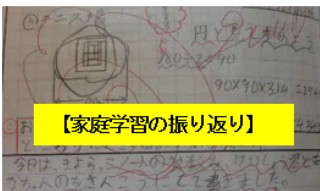
【計画タイムの様子】



家庭での「きよらっこノート」の自主的な取組のために、帰りの会の時間に「計画タイム」を設定し、家庭学習の内容を決めています。

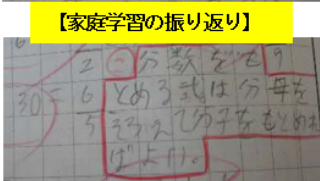
帰宅すると児童は、この計画を確認して学習に取りかかります。内容は、各教科の基礎・基本的なものだけではなく、日記、継続した観察の記録等、自分の夢の実現につながる幅広い課題に取り組んでいます。

南小国町4校の小中学校では、毎月、優れた「きよらっこノート」の交流を行い、各学校で掲示することで、児童生徒の意欲が高まっています。



【家庭学習の振り返り】

【きよらっこノート小中の交流】



【家庭学習の振り返り】


【「きよらっこノート」による学習】

参考指標2 【家で自分で計画を立てて勉強をしている】実践例

関連項目「熊本の学び推進プラン」第5章

生徒の主体性を高めるためのプランニングタイムの見直しと1人1台端末の活用  
～ 山都町立矢部中学校～

- 1人1台端末の活用を図った家庭学習計画を立てる取組
- 学習計画を立てる段階から、「計画に基づく取組」を確認する教師の支援



8月29日 火曜日

- 1 国語 テスト
- 2 理科 テスト
- 3 英語 テスト
- 4 数学 6点セット
- 5 社会 歴史5点セット

必要な物 キャリパス コンパス 三角定規

開始時間 5時30分

家庭学習の開始時間

国語 表現技法 助詞・助動詞など 40分

理科 化学記号など 40分

英語 基本文 単語 40分

家庭学習の内容や時間を自分で考えて計画

①明日の日付  
②時間割  
③持ってくるものを記入

教科書の内容を確認しながら、家庭学習の計画を立てています

一日を振り返っての日記、学習したノートや問題集の写真を紐付けして、提出

☆日記  
今日は、保育実習に行きました。1～2歳の担当で、とてもみんな可愛かったです。とても楽しくて、可愛かったのでもた行きたいです。

提出するために、家庭学習のノートを写真に撮っています

【1人1台端末を活用した家庭学習の様子】

矢部中学校では、昨年度まで帰りの会で、その日の家庭学習計画を立てる取組を行ってきました。そのため、家庭学習の計画を立てる意識は高い状態を維持しています。

今年度は、生徒の家庭学習への主体性を高めるため1人1台端末を活用して、家庭学習の計画を自宅等で立てるようにしました。

その際、生徒は、端末上のシートに計画表を作成し、学習したことや日記をそのシートに紐付けして提出します。翌日、朝自習の時間に、「計画に基づく取組」を教師が一人ずつ確認し、生徒と意見を交換する時間を設けています。

参考指標2 【家で自分で計画を立てて勉強をしている】実践例

関連項目「熊本の学び推進プラン」第5章

家庭学習習慣の定着を図るための帰りの会（轍（わだち）タイム）の取組  
～ 八代市立第三中学校～

- 帰りの会において、生活ノートに家庭学習の計画を立てる取組



	教科(内容)	予定時刻	チェック
学習 プラン	英語7-7P5	8時～8時20分	<input checked="" type="checkbox"/>
	社会7-7	8時20分～8時40分	<input checked="" type="checkbox"/>
	社会C318	8時40分～8時50分	<input checked="" type="checkbox"/>
	数学C217	9時～9時10分	<input checked="" type="checkbox"/>

【轍タイムの様子と轍ノートの一部】

帰りの会終了後、10分間の轍タイムを設けています。轍タイムでは、生活ノート（轍ノート）に、家庭学習の計画（学習内容と時間）を立て、残った時間で学習に取り組んでいます。全校で同じ時間帯に、静かな環境をつくり、落ち着いた雰囲気の中で活動に取り組んでいます。

家庭では、轍タイムで立てた家庭学習の計画に沿って学習を行っています。轍タイムの活動をそのまま家庭学習につなげることで、家庭学習の習慣が身に付いてきました。生徒は家庭学習の取組状況を自分自身でチェックし、全職員で連携して見取りを行っています。

事前の計画と「めあて」と「まとめ」を用いることで、生徒の主体的な家庭学習につなげる取組

～芦北町立佐敷中学校～

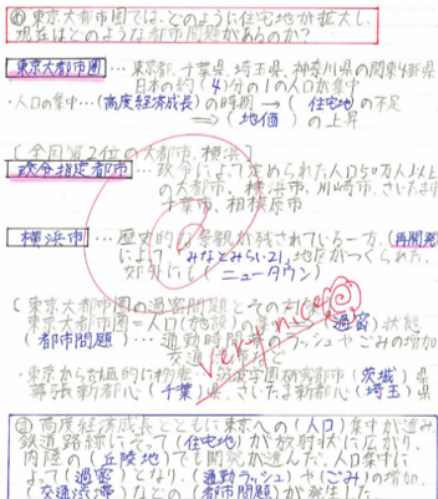
- その日の家庭学習計画を生活ノートに記入する時間の設定
- 自主学习ノートに「めあて」「まとめ」を記入する取組の共通実践



【計画記入の様子】

①2時間以上の家庭学習 (18:30～20:30)	○×
②自学のめあて (テストに向けて復習(読みか))	○×
③自学の振り返り (読んだことは、覚えているか)	○×
④保護者コメント (読んだこと、感想)	読んだ時間
読書・読後カード	
A7・16・17・18	
読書(を)内容(書)	読書(を)内容(書)
読書(を)内容(書)	読書(を)内容(書)

【生徒の家庭学習計画】



【生徒の自主学习ノート】

本校では、帰りの会が始まる前の5分間を、生徒がその日の家庭学習計画を生活ノートに記入する時間として設定しています。

家庭で行う自主学习ノートについては、「めあて」を立てて学習に取り組み、最後に「まとめ」を記入して学習を振り返ることになっています。

この取組の共通実践により、家庭学習に対する生徒の意欲や主体性が高まり、家庭学習の量・質の向上につながっています。

生徒が見通しをもって学習計画を立て、意欲的・継続的に学習する取組  
～多良木町立多良木中学校～

- 学習委員会が教師と連携・情報共有し、今後のテスト計画を周知
- 学習委員からの情報を基に、生徒が各自の家庭学習計画を作成



【学習委員による説明の様子】

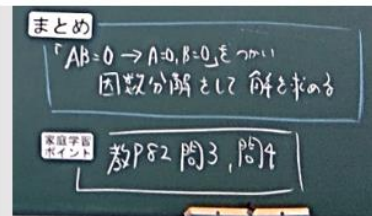
生徒が自ら学習に取り組む習慣の確立を目指し、生徒会の学習委員会と教師が連携し、家庭学習の充実に取り組んでいます。

学習委員会は、各教科の教師から直近2週間分の各教科の単元テスト等の予定を聞き取り、週に1回の朝学活の時間に生徒に周知します。生徒は、その情報を基に、班ごとに相談しながら学習計画を立てていきます。

また、毎日の帰りの会において、各自が当日の家庭学習の予定を立て、帰宅後の家庭学習につなげています。

生徒が自らの学びの姿を知り、学習習慣を形成するための取組  
～天草市立牛深東中学校～

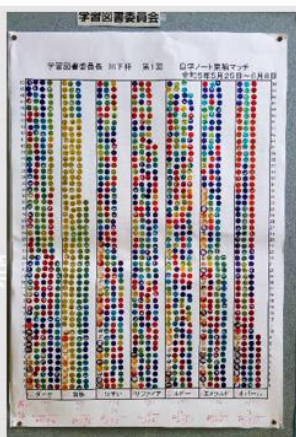
- 授業と家庭学習をつなげるための「家庭学習ポイント」を示す取組
- 生徒会活動による家庭学習時間調査と「自学ノート東輪（とうわ）マッチ」の取組



【「家庭学習ポイント」の提示】



【学習図書委員会の啓発活動】



【「自学ノート東輪マッチ」の様子】

授業と家庭学習のつながりをつくるために、「家庭学習ポイント」を授業の中で示しています。この内容と関連させた自学の取り組み方について、全校集会等で生徒と共有し、家庭学習の充実を図っています。

また、生徒会学習図書委員会では、家庭学習時間の調査を行い、家庭学習への取組について啓発活動を行っています。

さらに、縦割り班の組織である東輪（とうわ）会を利用して「自学ノート東輪マッチ」を行い、家庭学習の取組について意識の向上を目指しています。

これらの取組を通じて、家庭学習に計画的に取り組む生徒の割合が、8割を超えました。